

# 第1学年 体育科学習指導案

指導者

## 1 単元名 「ジャングルリレー」(全6時間)

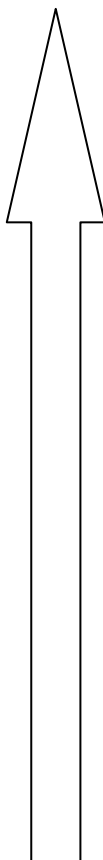
## 2 学習を進めるにあたって

### めざす子どもの姿

- バトンを渡して、様々な障害物にぶつからずに走り越えることができる子ども(技能)
- 安全に気をつけて進んで運動に取り組み、勝敗を受け入れ、楽しく運動できる子ども(態度)
- リレー遊びの仕方を知り、走り方や跳びこし方を工夫することができる子ども(思考・判断)

### こんな教材で こんな学習過程で

- ハードルリレーは、数人ずつのチームを作り、一人一人がケンステップや段ボールなど様々な障害物を走り越えながら、友達にパスをつないで競争することが楽しい運動遊びである。障害物の種類や走るコース、走る順番、走り方など作戦を工夫することによって楽しさが広がったり、勝敗が変わったりというおもしろさもある。
- 本単元ではステージ型の学習過程をとり、めあて1では「ジャングルを走りぬけよう」めあて2では「ジャングルリレーでほかのチームと競争しよう」をめあてに学習を進めていく。
- 各時間の始めには、「びよんびよんタイム」という基礎・基本となる動きの感覚を身につける運動を設定する。内容としては、枠の中にランダムにケンステップを並べそれを踏まずに跳び越える運動や、ロープで作った川を跳び越す遊びを取り入れ、片足で走り越える感覚を養う。



### こんな支援で

- ① 評価規準の活用  
運動の特性や児童の実態をふまえ、評価規準を設定し個に応じた支援を行う。
- ② 教師の声かけ・友達との関わり方  
ハードルにぶつからずに走り越えているところや一生懸命応援している児童を称賛していく。ハードルをぶつからずに走り越えられるような動きをステップカードで提示する。また、ハードルの置き方を工夫するように声をかけるようにする。
- ③ 学習ノートの工夫  
児童に活動量・友達との関わり・ルールなどを自己評価させ、振り返るようにさせる。また、チームで工夫したところは、ボードにまとめさせ、広めていく。
- ④ 活動の場・学習環境の工夫  
子ども達が、楽しみながら活動できるように、学習全体の場を「ジャングル」と設定しそのジャングルに住む動物たちのイラストをハードルに貼る。また、「みんなのやくそく」「ジャングルリレーのルール」を掲示する。子ども達から出てきた作戦は、クラスの財産として残していく。

### こんな子どもだから

- 体育の学習が好き・どちらかと言えば好きの子どもが27名。
- かけっこが好き・どちらかと言えば好きの子どもが24名。
- かけっこで楽しいと感じる理由は「友達と競争するのが好きだから」「走るのが得意だから」「勝ったら嬉しいから」いやだなと感じる理由は「こけたら痛いから」「速く走れないから」
- 今までにリレーをしたことがある子どもが28名。内、リレーが好き、どちらかと言えば好きの子どもが23名。
- 幼児の段階で身に付けておきたい体の重心の移動を伴う動作として「走る」「歩く」「跳ねる」「登る」「くぐる」などがあるが、どれも個人差があり、経験不足の子どももいる。
- 1学期に行った「くねくね走」(かけっこ)の学習では、ロープを使って意欲的にコースを作り、調子よく走るこつに気をつけながら走ることができていた。しかし、走ることが極端に嫌いで、進んで走ったり、友達と楽しんだりできない子どももいた。
- 準備・後片付けでは、自分の役割に責任をもって行うことや協力して行えるようになることができるようになってきている。

# 第1学年 体育科学習指導案（本時案）

指導者

1 本時 平成24年 月 日（ ）公開 I 本校運動場にて

## 2 本時の中心となる評価規準

- スピードにのって走ったり，調子よく走り越したりすることができる。（技能）
- 走る順番や走り越し方について考えている。（思考）

## 3 本時学習を進めるにあたって

前時までに子どもたちは，めあて1で6つのハードル全てを走り越すことを体験し，めあて2では，その中から特に走り越えて面白かったハードルを，対戦相手と話し合っ2つに絞り競争してきている。バトンパスの仕方や走る順番が勝敗につながることに気づき始め，いろいろな楽しみ方で競争する姿が見られるようになってきている。そこで本時では，他のチームと競争する時間を十分に確保し，走り越す楽しさを味わわせたい。そのために，途中で話し合いが進まないチームには，お宝ボードに目を向けたりうまく協力できているチームのことを広めたりする。学習のまとめでは，自分の頑張れたことやチームで話し合っうまくいったことを交流し，楽しさを共有していく。

4 準備 ハードル（平面のダンボール，フラフープ，A4ダンボール1つ，A4ダンボール2つ，500m L4連ボトル，2L4連ボトル），ケンステップ，長縄，ボード，ステップカード，学習ノート

## 5 展開（6/6時）

分	子どもの主な学習活動	教師の支援活動
0	1. 学習の準備をして，びよんびよんタイムをする。 ○ 安全に気をつけて協力して場づくりをする。 ○ 「びよんびよんタイム」でケンステップを並べて跳び越えたり，ロープの川を跳んで渡ったりする。	○ 安全な場作りができているかを確認する。 ○ 友達とぶつからないようなケンステップのおき方になっているか確認する。
7	2. 今日の対戦相手，めあての確認をする。	○ 今までに調子よく走り越せたり，チームで協力できた時のことを想起させ，本時の学習に意欲をもたせる。
	めあて2 ジャングルリレーではほかのチームときょうそうしよう。	
12	3. めあて2の活動をする。 ○ 対戦相手と今日の走り越すものを確認し，作戦をたてながら，楽しく競争する。 ①ハードルの置き場所を変える。 ②走る順番を考える ③走る回数を増やす	○ 話し合いがうまくできていないところや，ルールが守れていないグループを中心に声をかける。 ※ 走る順番や走り越し方について考えている。（観察） ○ いい走り越えやスムーズなバトンパスをしている子どもを賞賛する。 ○ 応援の仕方や待ち方が上手なグループを認めていく。 ※ スピードにのって走ったり，調子よく走り越したりできている。（観察）
35	4. 学習のふり返りと後片付けをする。 ○全体交流をし，うまくできたところ，うまくいった作戦，友達のよかったところを話し合う。 ○安全に気をつけて協力して後片付けをする。 ○学習ノートを書く。	○ 頑張ったところや，チームで話し合っうまくいったことを話し合う。 ○ ボードにジャングルリレーのこつが集まったことを賞賛し学習のまとめをする。 ○ 一緒に片付けをする。 ○ 頑張れたことや友達の発表を聞いて思ったことなどを，ノートに書いてまとめる。
45		